

Dialogue 40 Introducing someone -人を紹介する-

ダイアログの和訳と解説

口語訳

Roles: Kei=K, Mrs. McDonald=M, Heinrich=H
Kei is introducing Heinrich to Mrs. McDonald.

K: ① Mrs. McDonalds, this is my friend, Heinrich. ② He's from Switzerland.

M: ③ Nice to meet you, Heinrich.

H: ④ Nice to meet you, too.

K: ⑤ Heinrich is a student at the International School.

H: ⑥ I came to Japan in April.

K: ⑦ Mrs. McDonald is my English teacher.
⑧ She's from England.

H: ⑨ Oh, that's nice.

K: ⑩ She's a great teacher.

M: ⑪ Well, thank you, Kei.... ⑫ It was nice to meet you, Heinrich.

H: ⑬ It was nice to meet you, too, Mrs. McDonald.

圭はハインリックにマクドナルド先生を紹介しています。

K. ①マクドナルド先生、こちらが僕の友達のハインリックです。②彼はスイスから来たんです。

M. ③会えてうれしいわ、ハインリック。

H. ④こちらこそお会いできてうれしいです。

K. ⑤ハインリックはインターナショナル・スクールの生徒なんです。

H. ⑥4月に日本に来ました。

K. ⑦マクドナルド先生は僕の英語の先生。
⑧イングランドから来てるんだ。

H. ⑨わあ、それはすてきだね。

K. ⑩すごくいい先生だよ。

M. ⑪まあ、ありがとう、ケイ……。⑫会えてよかったわ、ハインリック。

H. ⑬こちらこそお会いできてよかったです、マクドナルド先生。

Target Expressions

一人を紹介する表現



このダイアログのポイントは人に人を紹介する時・される時の表現の使い方よ。「はじめまして」How do you do? と習った人も多いと思うけど、実際は余り使われないみたい。

☆ 人を紹介するとき

(自分がAさんをBさんに紹介する場合)

自分 : B, this is A. A, this is B.

A : Nice to meet you, B.

B : Nice to meet you, too A.

* 自分 : Bさん、こちらがAさんです。
Aさん、こちらがBさんです。

A : 初めましてBさん。

B : こちらこそ初めましてAさん。

■初対面同士を合わせる場面なので紹介する相手2人の情報をだしましょう。それが糸口となり、会話が弾むでしょう。

(この対話は行数の制約上、紹介後すぐお別れしていますが実際の会話ではこれではややそっけない、唐突な印象となります。普通は紹介されたあと相手の興味のありそうな話題を探したりして和やかに会話を続けます。)



Kei's Advice

～なぜこう訳すの？

逐語訳

⑩Oh, that's nice. = 前の情報に対して「そうなんだ～」と驚いています。

⑪Well = 会話表現の中でよく使われる単語でここでは言葉の切り出しの役割になります。ここでは前の発言に対して好感を持って出てきた言葉なのでうれしさと驚きを込めて「まあ」と訳しました。

K. ①マクドナルド先生、これは僕の友達(ハインリック)です。②彼はスイスから来ました。

M. ③あなたに会うことができてうれしいです、ハインリック。

H. ④僕もあなたに会うことができてうれしいです。

K. ⑤ハインリックはインターナショナル・スクールの生徒です。

H. ⑥私は4月に日本へ来ました。

K. ⑦マクドナルド先生は私の英語の教師です。⑧先生はイングランドの出身です。

H. ⑨ああ、それはすてきですね。

K. ⑩彼女は素晴らしい教師です。

M. ⑪さて、ありがとう、ケイ。⑫あなたに会えてよかった、ハインリック。

H. ⑬こちらこそあなたに会えてよかったです、マクドナルド先生。

☆ 英語では相手の名前をちゃんと言うのが礼儀正しいとされます。

☆ 出身地、趣味などを尋ねて話を盛り上げるといいでしょう。ただし、宗教や信条、年齢、既婚の有無などは初対面では聞かないほうがいいでしょう。

☆ 紹介する順番は、目下の人を先に目上の人を紹介するのがマナーです。

☆ 初めて会う人たちとの会合などあらたまった状況では、人を紹介するときに丁寧に肩書をつけます。どんな職業についているのか、どんな仕事をしているのか告げることもあります。例えば、

This is **professor** Mark Dent.

(こちらはマーク・デント**教授**です)

■ 肩書きが無い場合は Mrs. Miss. Ms. Mr. を付けましょう。英語の場合は自分でこのような肩書きをつけて自己紹介することもよくあります。

I'm **Ms.** Tailor.